

## 会社概要

(2010年8月31日現在)

社名	ソーバル株式会社
設立	1983年1月
本社所在地	〒146-0092 東京都大田区下丸子3-25-14 ソーバルビル
資本金	212百万円
事業内容	○エンジニアリング事業 ・ハードウェア・ソフトウェアのエンジニア派遣 ・ハードウェア・ソフトウェアの受託開発 ○その他事業 ・RFID 製品・RFID システムの開発、販売
社員数	924名 ※常勤役員含む。
ホームページ アドレス	<a href="http://www.sobal.co.jp/">http://www.sobal.co.jp/</a>

## 株式の概況

(2010年8月31日現在)

上場証券取引所	大阪証券取引所（JASDAQ市場）
証券コード	2186
発行可能株式総数	7,400,000 株
発行済株式総数	2,171,900 株
単元株式数	100 株

## 株式手続き情報

(2010年8月31日現在)

定時株主総会	毎年5月
配当金受領株主 確定日	第2四半期：8月31日 期末：2月末日
上場証券取引所	大阪証券取引所（JASDAQ市場）
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
各種照会先	【諸届け】 住所・氏名のご変更、配当金受取り方法のご指定などに関するお問合せ、各種手続きに必要な書類のご請求はお取引の証券会社までご連絡下さい。 【特別口座で管理されている株式】 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 ※お問合せ：三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター(受付時間:土・日・祝祭日を除く平日9:00～17:00) 0120-232-711 (東京)
公告方法	電子公告の方法により行います。但し、電子公告によることが出来ない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。 【公告掲載 URL】 ( <a href="http://www.sobal.co.jp/stockholder/">http://www.sobal.co.jp/stockholder/</a> )



# ソーバル株式会社 中間事業報告書 2010

2010年3月1日 - 2010年8月31日

### お問合せ先

#### ソーバル株式会社 IR担当窓口

〒146-0092 東京都大田区下丸子3-25-14ソーバルビル  
TEL:03-5482-1420 (受付時間 平日 9:00～16:30)

IRサイトアドレス：<http://www.sobal.co.jp/ir/>

このパンフレット内の文章・写真等の著作物の全部または一部を弊社の許可なく複製、使用することを一切禁じます。  
パンフレットの内容は2010年11月現在のものです。131010PR111-IRC02

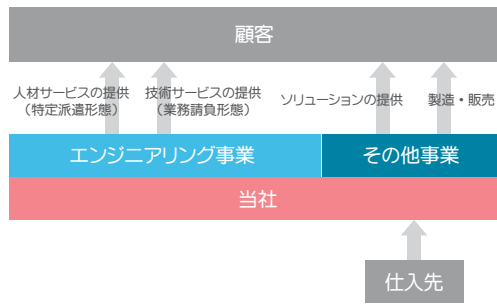
JASDAQ

証券コード 2186

## 事業概況

当社は、ファームウェア、ソフトウェア並びにハードウェアの開発及び評価に関するサービスを、当社従業員の特定人材派遣及び業務請負により提供するエンジニアリング事業を主な事業として展開しております。

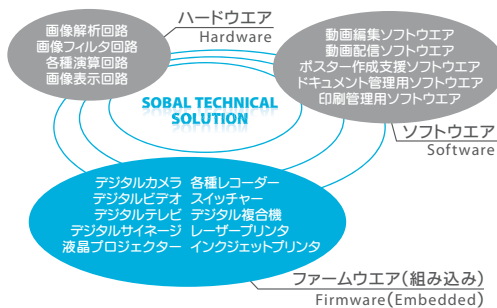
また、その他事業として「RFID」分野に関する製品の製造、販売及びソリューションの提供を行っております。



### エンジニアリング事業

主として、デジタル製品メーカーに対し、ファームウェア、ソフトウェア並びにハードウェアの「開発」を支援するサービスを提供しております。同時に、開発中の試作品の不具合や仕様誤りをプログラムレベルで評価・検証したり、生産前の製品の品質評価をする「評価」サービスも併せて提供しております。また、デジタル製品メーカー以外にも、精密機器や電子機器メーカーに対して、同様の技術支援サービスの提供を行っております。ソフトウェアでは、デジタル製品のアプリケーションツールやドライバの開発のみならず、Webアプリケーションの開発にも携わっております。ハードウェアでは、LSI<sup>※1</sup>やDSP<sup>※2</sup>の設計・開発、周辺回路設計、さらに構造設計や機構設計の研究・試作・量産設計を開発範囲としております。

併せて、組み込みソフト開発において培われた技術基盤により、製品開発コスト管理支援ソリューション、組み込みシステム設計支援ソリューション、SoC設計支援ソリューション、ソフトウェア製品化支援ソリューション、基板装置試作・量産支援ソリューション等の各種コンサルティングを提供しております。



※1 大規模集積回路。IC (集積回路)のうち、素子の集積度が1000個～10万個程度のもの。

※2 音声や画像などの処理に特化したマイクロプロセッサ。モテムなどの装置に組み込まれたり、パソコンに搭載されてCPUの処理を一部肩代わりしたりする。

### その他事業 (RFID事業)

その他事業として現在、「RFID」分野に関する製品の製造、販売及びソリューションの提供を行っております。「RFID」は、電波及び電磁誘導方式を用いた非接触型の自動認識技術であり、物流・在庫管理等の分野において利用されております。

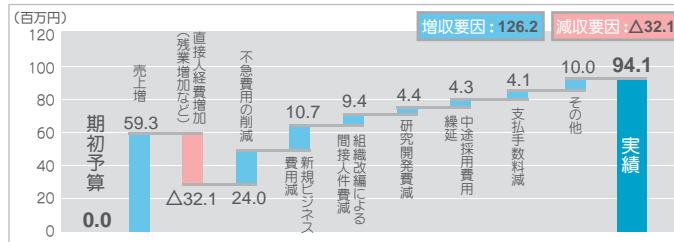
## 2011年2月期第2四半期までの動向

### 業績ハイライト

科目	2010年2月期	2011年2月期第2四半期		2011年2月期	達成率
		期初予算	実績		
売上高	5,766	2,837	2,897	5,850	49.5%
営業利益	16	0	94	150	62.6%
経常利益	19	0	101	150	67.3%
純利益	△19	0	54	90	60.0%

回復のペースは当初予定よりも早かったものの、依然として世界的な景気回復の減速感、米・欧州経済の不透明感により円高が進行するなど、完全な上昇転換とするには決め手を欠く予断を許さない状況にあります。

### 営業利益の増減分析



派遣人員の増加や残業の増加で売上が増加  
組織改編による間接部門のスリム化により人件費が減少  
不急の費用を削減・下記へ繰延  
残業の増加に伴い、人件費も増加

派遣形態の売上増加と、間接費の経費削減効果により営業利益は上げられ着地

### 構成比率 (セグメント別)

構成比率	2009年2月期	2010年2月期	2011年2月期2Q
特定派遣	68.5%	64.9%	63.6%
業務請負	29.0%	33.7%	35.5%
その他事業 (RFID)	2.4%	1.3%	0.9%

業務系・Web系請負業務の受注増や、納期の関係により、業務請負の割合が上昇いたしました。

### 構成比率 (主要顧客別)

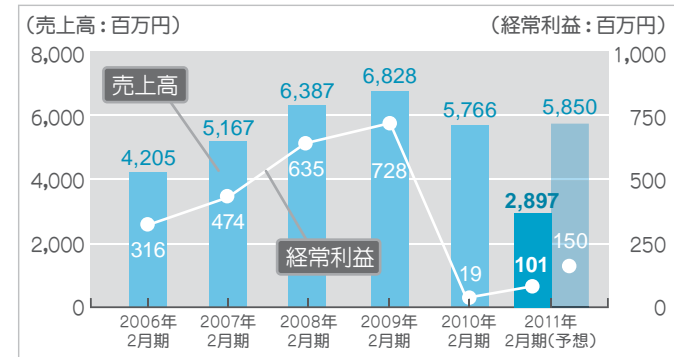
構成比率	2009年2月期	2010年2月期	2011年2月期2Q
キヤノン株式会社	73.5%	74.1%	75.7%
キヤノングループ	1.4%	1.9%	2.2%
ソニー株式会社	16.6%	14.1%	9.9%
その他	8.5%	9.9%	12.2%

ソニー様における契約縮小により相対的に、キヤノン様の比率が上昇いたしました。

新規開拓により、その他の割合も増加しております。

## 2011年2月期第2四半期以降の動向予想

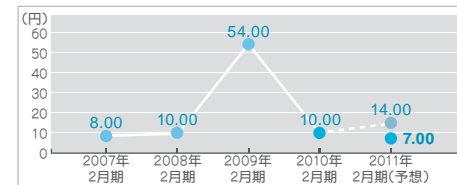
### 売上高、経常利益の推移予想



売上、利益ともに予想を上回る成果で着地いたしました。次の理由で当期予想は据え置きます。

1. 円高の影響による残業抑制及び人員削減の可能性
2. 業務請負形態における受注単価の引き下げ要請がみられることを考慮
3. 将来の新規ビジネスへの投資などを検討

### 配当金の推移



中間配当は当初の予定通り7円を実施いたします。期末配当についても現時点で変更なく7円を予定しています。

### 次年度へ向けての施策



試行錯誤を繰り返しながら、毎年さまざまな企画に挑戦していきます。

2011

まずは主力ビジネスの高稼働・高収益化に取り組む

余剰資金の範囲内で研究開発・新規ビジネスを展開していく